



京都労働局イメージキャラクター
御池ちゃん

働き方・休み方改善

ワークショッブとは

ワーク・ライフ・バランスの実現にむけて

労働者の健康と生活に配慮するとともに、多様な働き方に対応した労働時間等の設定の改善について積極的な取り組みが求められています。

過重労働を防止するために、

仕事の組み立て方や就労の仕方を見直す等「**働き方**」

休日や休暇をより労働者の生活ニーズに適合したものに改善する等「**休み方**」

2つの視点から総合的に改善を進めていくことが重要です。

ワークショップとは

参加者自身が議論に加わり、**参加者同士で意見交換を行う**等双方向的な手法によって行う参加・体験型の研修です。

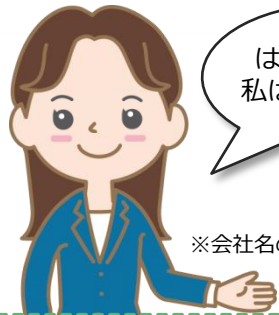
自社の取組を発表したり、他社の取組について意見交換を行うことで、問題解決の糸口を掴んだり、他社の状況を知ることによる意識改革が期待できるなどのメリットが考えられます。

少人数（4～7名）で、労働時間や休日を軸に働きやすい環境作りをどうするべきかを、参加いただく方が主役となって話し合ってください。



ワークショップの流れ

1: アイスブレイク 自己紹介



はじめまして！
私は、〇〇です。

※会社名の開示は任意です。

ワークショップでの発言を活発にするために、簡単な自己紹介を行います。

2: 取組事例発表

まずは、自社の取組・問題点を書きだします。



他の参加者に分かるよう貼り出し、内容を発表します。

3: 意見交換



出た意見を皆で話し合い、取組について共有し、問題点の改善方法についてのアイデアを出し合います。

4: まとめ・提案



参加者の声

- 担当者同士のディスカッションが有意義でした。
- 正直な話が出来てよかったです。
- 参加してみることが大切だと思います。
- 普段さまざまな意見をきく機会が少ないので、充実した時間を過ごせました。
- 自分の会社と同じ悩みを持っている会社もいることがわかり少し安心しました。その会社の取組の成功事例を取り入れられるか検討したい。

問い合わせ先

京都労働局
雇用環境・均等室
働き方・休み方改善コンサルタント

☎ 075-241-3212